

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健の課題と支援 I			(精.発) 必修 (社) 選択	2	2	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
宮村 りさ子		B312	risako.miyamura		木曜日 11:00~12:30	
授業の目的・概要		<p><目的>本科目は健全な生活習慣やライフサイクルをはじめとする精神保健の基本的な考え方とそれに関連する人間の心理行動面の特徴を理解し、現在の国内外における様々な精神保健の問題や動向を学び、精神保健福祉士の役割について理解することを目的とする。</p> <p><概要>教科書や資料をもとに遠隔による講義を行う。グループワークなどのディスカッション、発表などアクティブラーニングを活用した授業も行うことで理解を深める。</p>				
授業形式・方法		<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク)
学習上の助言		日頃から精神保健学に関連のあるニュースや新聞記事に関心を持ち、考察して欲しい。				
教科書		最新 精神保健福祉士養成講座 2 現代の精神保健の課題と支援/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書		教科書以外の資料は別途配布する。参考図書は授業時に適宜紹介する。				
外部教材		なし				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神的健康、メンタルヘルスに関して自らの考えを述べるができる。				HSU(1)(3)(4)、WP(1)(3)(5)(6)	
②	ライフサイクルの各時期に問題となる主な精神的問題について説明できる。				HSU(1)(3)(4)、WP(1)(3)(5)(6)	
③	精神保健の課題への取り組みについて説明できる。				HSU(1)(3)(4)、WP(1)(3)(5)(6)	
④	家庭、学校、職場、地域の精神的健康の維持や増進に関わる諸問題について説明できる。				HSU(1)(3)(4)、WP(1)(3)(5)(6)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、学習方法) を実施する。精神保健の概要 (1) 「精神保健とは」を学ぶ。	同時双方向型授業	シラバスや教科書を読み、全体像を把握する。 4			
2	精神保健の概要 (2) 「ライフサイクルと精神保健」「生活習慣と精神の健康」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
3	現代の精神保健分野の動向と基本的考え方(1) 「精神保健の動向」「精神保健活動の3つの対象」「精神の健康に関する心的態度」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
4	現代の精神保健分野の動向と基本的考え方(1) 「精神保健の動向」「精神保健活動の3つの対象」「精神の健康に関する心的態度」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
5	現代の精神保健分野の動向と基本的考え方 (2) 「精神の健康に関する心的態度」「生活と習癖」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
6	家族に関連する精神保健の課題と支援 (1) 「家族関係における暴力と精神保健」「出産・育児をめぐる精神保健」「介護をめぐる精神保健」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
7	家族に関連する精神保健の課題と支援 (2) 「社会的ひきこもりをめぐる精神保健」「家族関係の課題」「グリーフケア」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
8	家族に関連する精神保健の課題と支援 (3) 「現代の日本の家族関係における精神健康的な諸問題、今後の課題」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
9	学校教育の課題とアプローチ (1) 「学校教育における精神保健的課題」「教員の精神保健」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
10	学校教育の課題とアプローチ (2) 「スクールソーシャルワーカーの役割」「学校精神保健にかかわる社会資源」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
11	学校教育の課題とアプローチ (3) 「現代の学校教育における精神保健福祉の現状と課題」についてグループワークを実施する。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
12	勤労者の課題とアプローチ (1) 「現代日本の労働環境」「産業精神保健とその対策」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			
13	勤労者の課題とアプローチ (2) 「職場のメンタルヘルスのための相談」「職場内問題を解決するための機関関係法規」を学ぶ。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。 4			

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

14	勤労者の課題とアプローチ (3)「現代の日本の労働環境、職場のメンタルヘルスの現状と課題」グループワークを実施する。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4
15	講義全体の振り返りをする。	同時双方向型授業	該当箇所の教科書を読み、専門用語や重要内容を理解する。	4
試	定期試験の実施 / 達成度評価・評価のポイントを参照する。			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	40	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	5	0	0	45
	思考・推論・創造する力	10	0	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	10	15
	問題を発見・解決する力	0	0	5	0	0	5

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	期末試験では行動目標①～④について正誤を判断する問題形式で出題する。出題方法は選択肢ならびに記述式の問題で構成され、行動目標①～④に関する達成度についても総合的に評価できるように出題する。	正答や模範解答を公表する。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	✓	1) 第 11 回の授業時に「現代の学校教育における精神保健福祉の現状と課題」についてグループワークを実施する。グループで考えや意見をまとめて発表する。 2) 第 14 回の授業時に「現代日本の労働環境、職場のメンタルヘルスの現状と課題」についてについてグループワークを実施する。グループで考えや意見をまとめて発表する。	次回の授業時に口頭でフィードバックする。
	②			
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	授業終了時にリアクションペーパーに感想や意見などを書いてもらう。その内容によって取り組む姿勢や意欲と判断する。	次回の授業の初回にフィードバックする。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

そ の 他	1) Teams によるリアルタイム双方向型の授業の場合、通信容量が無制限の Wi-fi 環境での受講を推奨。 2) 精神保健福祉士国家資格取得希望者は必須科目につき必ず履修すること。 3) 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。
-------	--